

や絵をかいた程度の経験でしかない。そのような児童が石を使って興ずる遊びは一体どのようなものであろうか疑問であったが、いったん遊び場に出た児童は、それぞれの遊び場所で時間を忘れるほど遊びに熱中した。遊びは4種で、① 坂を利用したボーリング ② けんとび ③ 石けり ④ 石入れである。石入れは地面に大円、小円をかき、小円に石を入れた方が得点が高い遊びである。ボーリングは本物のピンを置いてやることにより、いっそうおもしろく遊ぶことができた。それぞれの遊びをひととおりやってみよう話したのであるが、児童の様子を見ていると男子はいっせいにボーリング遊びに興じ

女子はけんとびといった具合に分かれてしまった。石けり、石入れははみ出してしまった児童が集まる程度で人気がない。できるだけ多くの遊びを経験させ、遊びに適する石に気付かせたかったのであるが予想に反した。男子に人気のあったボーリング遊びを見ていると結構いろいろな形の石やこぶし程の石からドッジボール程の大きさの石を持ち出し飽きることを知らないで遊んでいた。けんとびは石の形を工夫するというよりはゲームそのもののおもしろさに興じてしまっていた。最後の話し合いでそれぞれの遊びに適する石を的確に提示することができたので、一応目標は達成できた。

(本時のねらい) 石の形、大きさ、色などの特徴を生かして、いろいろなものの形を作らせるとともに、石を使って形を作る楽しさを味わわせる。

(過程)

学 習 内 容 ・ 活 動	時 間	指 導 の 要 点 ・ 評 価
(1) 自分の拾ってきた石や他の石の特徴を見て、「石を上手にを使って、いろいろなものの形を作ろう」というめあてをとらえる。	5分	○ 石拾い当時のことを思い出させて、自分の作ってみたい形をもう一度確認させたり、特徴のある石を見せたりして、意欲を高める。
(2) 自分の作りたいものの形について話し合い、いろいろな形を作る準備をする。 ① 作りたいものの形について話し合う。 ○ 動植物、乗り物など ② 石選びをする。	10	○ 当初の話し合い時の作りたいものにこだわらず、さらに自分の好きなものをふやして作らせるようにする。 ○ 石の特徴を十分生かすよう確認させる。
(3) 用意した石を用い、自分の作りたいものの形を作る。 ① 庭いっぱいにする。 ② 残したい部分を板にはる。	60	○ 1つの作品にこだわらず、好きなものの形をどんどん作らせるようにする。 ● 自分で拾ってきた石や石置き場の石の特徴を生かして形を作る活動が楽しくできるか。 ○ 板の大きさなどを考えさせ、まとまりのある作品になるよう配慮してやる。
(4) でき上がった作品を見て、石の特徴を生かした箇所などについて話し合う。	15	○ 理科と図画工作科の観点から話し合いを進めるようにする。

(考察)

本時は、前述のような考えのもとに理科と図画工作科の合科的な扱いを試みたものである。理科としてのいちばんのねらいは、前時までに石についての意識が高まってきたことから、さらに深く石の特徴を見つめさせようとするのであり、図画工作科としては、自然物の特徴を生かして、上手にものの形を作って楽しむということである。この単元の初め

に、児童に何を作りたいかときくと潜水艦とか町とかかなり複雑なものを頭に描いているが、石を実際に手にして見てかなり変わってくる。また、男子と女子でもずいぶん違う。つまり、男子は船、飛行機などが多いのに女子はほとんどが動物である。生活経験の差がにじみでている。児童の作品を分けてみるとおおよそ次の図のようになった。